磯津の避難ビル

過日、磯津の住民の皆さんの津波避難ビルとなる「三重機械」さんの建物を実地に昇らせていただき部屋の中を見せていただきました。高さは3.5階11mほどあるでしょうか。

中は思ったより広い空間でした。原寸の設計図を描いたりする部屋だったらしく床にはその跡が残っていました。部屋の東の端からは公会所や磯津の町が眼下に見えました。ここのビルまで一番遠い東町の角から直線で800mです。

避難ビルにはいくつかの要件があり、市の義務もあります。

- 3階以上の鉄筋を基本とする。
- 昭和56（１９８１）年施行の新耐震設計基準後に建てられたもの。
- 海岸線から4km以内かつ海抜5m以下にある建物。
- 上記要件に合致しても、目視により適さない場合もある。
- 原則として、自治会・施設管理者・市の三者協定が望ましい。
  （ひな形を後のページに載せました。）
- 施設には避難ビルに指定されている表示板を掲示する。市民への広報も努める。
- 施設の解錠方法は事前確認を綿密に行うこと。
- 秩序ある行動ができるよう呼びかける。

実際先日120名ほど参加して訓練もされました。
ただ、土日の三重機械が休みの日の立ち入りはまだ協議中だと案内して下さった方は言います。この建物そのものの鍵はかかっていません。外部階段が狭いのも少し問題です。歳をとった方や障がいを持った方をどう援助して上に上げるか。それと磯津の方がたくさん言われるのは、すぐ後ろに昭和四日市石油の巨大原油タンクが七基もあることです。果たして、ここに安全を求めて避難する気持ちになれるか、たくさんの方が心配しておられます。（昭石のタンクの防災と安全対策を納得いくようを聞かせて欲しいと言われます。）